

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 7月 5日

事業所名 サガセルキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	運動室ではのびのびと活動できるよう広いスペースを設けています。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	基準通りの配置をしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	それぞれの子供の特性に合わせて絵カードや写真、手順が準備されている。	・身体不自由向けのバリアフリー化はされていない。 ・トイレの段差でつまづく可能性があるためスロープ等設置していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日、清掃や使用した物の消毒を行っており、活動の内容によって部屋を使い分けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	毎日職員全員で振り返り・情報共有を行っております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	法人ホームページで随時公開していきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		現在、外部評価を行っていないため今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			職員のスキルアップを目的に定期的に研修を実施していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を設定しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	職員間で児童発達支援計画に沿った支援を考え実施しております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	職員間で意見を出し合いながら立案し改善に努めています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	どの利用日でも様々な活動に参加出来るようプログラムを記載したカレンダーをお配りしております。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	子どもの状況に応じて作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎朝当日の活動内容や職員配置についてのミーティングを実施しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援終了後もミーティングを実施しております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の支援で気になることがあった際は記録と共有を行っております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	ミーティングを実施しております。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		行ったことがないとの意見が出たため必要に応じて現場の支援職員も参画していきたいとします。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		関係機関と連携を検討していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4		対象児がいないため、必要に応じて今後検討していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3		対象児がいないため、必要に応じて今後検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	必要に応じて対応しております。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5		相談支援より要望がなく行っていない為、必要に応じて取り組んでいきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		今後検討していきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		今後検討していきます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		今後検討していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時や面談、連絡帳を通して子どもの状況を聞いたりお伝えしております。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	2	療法士による研修を保護者向けに実施し、個別でもアドバイスをっております。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明しております	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	契約時に説明しております	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	相談があった際は個別に助言や支援を行っております。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		今後実施していく。（夏祭り等）
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談・申し入れがあった場合は迅速かつ丁寧に対応できるよう努めていきます。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	毎日の活動内容を記載したカレンダーを各御家庭にお配りしております。	今後も継続していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	お子さまの写真 をSNSに載せる にあたって 契約時に肖像権 使用の同意を 確認しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	5	0	絵カードや 1日の スケジュール表 などを使用した 視覚支援を 行っております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	1	4		まだ実施しておりませんが 必要に応じて今後実施して いきたいと思います。
非常時等の 対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	5	0		職員間では研修を行っておりますが、 保護者様への発信ができていない為 今後検討していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	5	0	子ども達と共に 定期的に 避難訓練を 実施して おります。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	5	0	契約時に 確認して おります。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	1	4		現在対象児がいらないため 対象となれば対応していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	5	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に 虐待研修を 実施して おります。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	5	0	法人内で 虐待防止・ 身体拘束に 関する会議を 開催して おります。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。